

大府市の事業・取組に対する要請

「地域経済の持続的発展」に向けて

令和 3年 9月29日

大府商工会議所



大府商工会議所の事業・運営につきましては、日頃から格別のご理解とご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、迅速なワクチン接種の推進や様々な経済対策に、多大なご努力をいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

しかし、地域、国を挙げた感染症対策の実施にもかかわらず、新型コロナウイルスの感染状況や我が国の経済状況は、依然として予断を許さない情勢にあります。当地域においても、相次ぐ自粛要請に伴う消費の落ち込みは、地域経済への大きなダメージとなっており、今後も厳しい経済環境が続くと予想されます。

加えて、中長期的には、コロナ禍で一気に進展したデジタル化や生活様式の変化への対応、或いは脱炭素社会、人口減少社会に向けた産業構造の再構築など、未来へ目を向けることも重要となっています。

このような苦境と将来的な変化を見据えて、当地が一層発展するためには、行政、民間を問わない地域一丸となった取組が求められます。

大府商工会議所では、こうした認識を踏まえて、

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化

II 持続可能なまちづくりの推進

III 健康で働きやすい持続可能な地域の実現

＋ 新型コロナウイルス感染症対策

を三本柱プラス ONE として、大府市施策の拡充・強化と愛知県や国へ積極的に働きかけていただきたい事項として取りまとめました。

それぞれの項目について、格別のご理解とご協力を賜りますとともに、その実現を強く願います。

令和3年9月

大府商工会議所会頭 鬼頭 佑治

目 次

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化	1
1 安定的な輸送と物流生産性の向上	
2 地域産業の発展と雇用確保	
3 中小・小規模企業の支援強化と人材育成	
II 持続可能なまちづくりの推進	5
1 あるべき都市像の具体化と市民レベルでの共有	
2 大府駅前再開発の具体化	
3 計画的な市街地整備の推進	
4 災害に対する強靱化	
5 警察力の強化	
6 地域の賑わい創出と快適なまちづくり	
7 市民の生活と安全を支える市道の整備	
8 街路樹の整備	
III 健康で働きやすい持続可能な地域の実現	11
1 健康経営の推進	
2 SDGs(持続可能な開発目標)の普及・啓発と環境ビジネスの振興	
3 ウェルネスバレー構想の推進	
IV 臨時・特別要請 新型コロナウイルス感染症対策	14
1 新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した支援の継続と拡充	
2 公共事業等による景気の下支え	
3 政府・愛知県への要請	
V おわりに	15
参考資料	16

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化

1 安定的な輸送と物流生産性の向上

(1) 幹線道路ネットワークの整備促進

荒尾大府線、大府東浦線、国道366号線、東海有松線、養父森岡線、瀬戸大府東海線 等

(2) 幹線道路の交差点改良等

★ 田面、本郷、午池南、惣作、長草町下田ノ松交差点等

(3) 高速道路の利便性向上

① 知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置

(都)荒尾大府線との接続を想定した整備に向けた施設管理者始め関係者との調整

② 知多半島道路大府西インターチェンジの渋滞解消

知多半島道路と伊勢湾岸自動車道の直接乗り入れの実現に向けた検討深化

2 地域産業の振興と雇用確保

(1) 産業用地の創出

「木の山地区」、「伊勢湾岸自動車道北崎IC周辺地区」、「あいち健康の森隣接地区」等における魅力ある産業用地の整備

(2) 戦略的な企業誘致の推進

- ・医療・介護等幅広い分野で活用が進むロボット産業等地域牽引企業の誘致
- ・「あいちサービスロボット実用化支援センター」等との連携
- ・スタートアップ企業の誘致・育成

★ (3) 大府市産業振興計画の進捗管理

3 中小・小規模企業の支援強化と人材育成

(1) 生産性向上支援

DX化推進の為の財政支援、ITツールの紹介、ITバンダー・専門家活用支援

★ (2) 販路開拓支援

・展示会出展やインターネットショップ出店の費用支援拡充

・企業価値を高めるJIS規格、JAS規格取得に関する費用支援

(3) 人材の育成・確保支援

デジタル化を始め、中小企業の経営革新を担う従業員等への研修や技能検定費用支援

(4) 「少年少女発明クラブ」への支援

II 持続可能なまちづくりの推進

★ 1 あるべき都市像の具体化と市民レベルでの共有

- (1) 将来構想の見える化
- (2) 公民連携によるまちづくりの推進
- (3) 市民参加のまちづくりの推進
- (4) 大府らしいまちづくりの推進
- (5) 道路等インフラの整備を前提とした拠点開発

2 大府駅前再開発の具体化

「大府駅周辺まちづくり計画」によるまちづくりの状況・今後の予定について

3 計画的な市街地整備の推進

(1) 明成町における市街地整備

(都)大府半田線沿線の計画的開発に向けた土地利用の規制・誘導

(2) 横根平子土地区画整理事業

区画整理区域と国道366号線とのスムーズなアクセス

4 災害に対する強靱化

(1) 防災インフラの整備

- ① 橋梁、河川堤防、上下水道などインフラの改修・耐震対策予算の確保
- ② 道路の防災性能向上に向けた無電柱化の推進
- ③ 市街地の防災機能を高める民間住宅の耐震化や狭隘道路の解消
- ④ ため池の浚渫などによる雨水貯留機能の強化

(2) 被災時対応の充実

- ① 近隣自治体と連携した医療・避難体制の整備・充実
- ② 新型コロナウイルス対策を含めた避難所運営マニュアル・物資の整備
- ③ 災害廃棄物の適正かつ迅速な処理体制の確立
- ④ 行政と民間企業が連携協力できる安否情報の共有や物資備蓄の推進
- ⑤ 円滑な罹災証明書の発行など中小企業支援策の整備

★ (3) 基幹的広域防災拠点(サブ拠点)の誘致

あいち健康の森公園周辺の基幹的広域防災拠点化と道路等関連インフラ整備の加速

5 警察力の強化

大府警察署の誘致

6 地域のにぎわい創出と快適なまちづくり

- (1) 大府市観光協会の体制強化とKURUTOおおぶの運営
- (2) 空き店舗等活用補助金制度の拡充
- (3) 公共交通サービスの充実

★ 7 市民の生活と安全を支える市道の整備

- ① 市民生活や産業活動の向上と防災に関わる市道の拡幅等事業、歩道の設置、無電柱化、側溝の有蓋化などの整備推進
- ② 新たな市道ネットワークの計画・整備

★ 8 街路樹の整備

愛知県と連携した良好な道路環境の維持・整備

III 健康で働きやすい持続可能な地域の実現

★ 1 健康経営の推進

- ① 公共事業の入札時の加点等、健康経営に取組む事業所へプラスとなる施策の検討
- ② 学生等へ向けた「健康経営」学習の普及・啓発

2 SDGs(持続可能な開発目標)の普及・啓発と環境ビジネスの振興

★ (1) 脱炭素化に対応した環境整備

脱炭素化に取り組む中小企業に対しての財政支援、新たな関連産業分野への挑戦に対する支援

(2) 環境ビジネスの振興

地球温暖化対策設備導入補助の充実と建築・設備等関連産業の振興

3 ウェルネスバレー構想の推進

(1) 医療機器産業の戦略的な誘致

あいち健康の森周辺への医療機器産業の戦略的な誘致。土地利用意向調査の結果を踏まえたロードマップの提示

★ (2) 地域資源の活用

あいち健康の森公園やげんきの郷と連携した新たな集客施設の検討

(3) 中小企業の医療機器産業への新規参入支援

製版ドリブ事業の活性化、初期段階での試作・研究開発や実証実験の助成、産学官連携等、事業化を見据えた支援の充実

(4) スタートアップ支援機関のサテライト誘致

愛知県が進める「ステーションAi」のサテライト施設の誘致

(5) あいち健康プラザ減築への対応

愛知県の動向に留意した公園の管理運営に対し適時適切な意見・要望

(6) 新たなウォーキングコースの設定

地域の水と緑の拠点、神社・仏閣を始めとする史跡を活かした更なる魅力あるコースの設定

定期的な意見交換の場の設置
(構成:市、商工会議所、JA等)

第6次総合計画、第4次都市計画マスタープランの具体化に向けて、大府市全域を見渡したまちづくりについて意見交換。関係者が課題を共有するとともに、連携協力して、それを不断に見直し、アクションを起こす場とする。

★小規模事業補助金等の水準維持

商工会議所の財源は、会員会費や事業収入の他、多くを愛知県及び大府市の補助金に負っている。従来の産業振興施策の方向性を踏まえ、小規模事業補助金等の水準を維持いただきたい。

IV 臨時・特別要請 新型コロナウイルス感染症対策

★ 1 新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した対策の継続と拡充

・事業者への支援継続と拡充

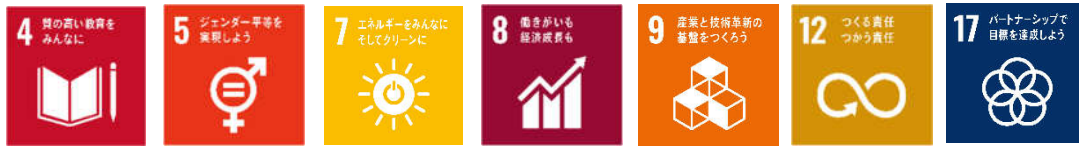
2 公共事業等による景気の下支え

・市内事業者への公共工事、物販、役務等の積極発注による地域需要の創出

3 政府・愛知県への要請

- ① 各種支援策の手続きの迅速化
- ★ ② PCR検査の充実による無症状感染者の早期発見
- ★ ③ 医療体制の強化

I 持続可能な地域経済の実現と競争力強化



1 安定的な輸送と物流生産性の向上

(1) 幹線道路ネットワークの整備促進

産業活動を支える物流を始め、地域間交流を円滑かつ安全に支える幹線道路の早期整備は当地域の大きな課題の一つです。

特に、尾張、三河、知多をつなぐ交通結節点である当地域は、道路整備の遅れや鉄道による市街地の分断などから、慢性的な交通渋滞が発生しており、経済活動や市民生活に大きな支障をきたしています。

未整備区間の早期開通に向けて事業を加速して物流等の高速化、効率化を図り、地域経済の持続的発展と競争力強化につなげていただきたい。

整備を希望する路線は次の通り。

- | | |
|----------------------|---------------|
| ① (都) 荒尾大府線 | ⑦ (都) 養父森岡線 |
| ② (都) 東海有松線 | ⑧ (都) 柵山大府線 |
| ③ (都) 大府東浦線 | ⑨ (都) 瀬戸大府東海線 |
| ④ 国道 366 号線(衣浦西部線含む) | ⑩ (都) 健康の森線 |
| ⑤ (都) 名古屋刈谷線 | |
| ⑥ (都) 大府駅前線 | |

(2) 幹線道路の交差点改良等

次の交差点については、早急な交差点改良のほか、信号サイクルの時間調整や右折信号設置等により、渋滞の改善に取り組んでいただきたい。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ① (一般県道名和大府線、東海緑線)・・・ | 田面交差点、本郷交差点 |
| ② (一般県道名和大府線)・・・ | 長草町下田ノ松交差点 |
| ③ ((都) 名古屋刈谷線)・・・ | 午池南交差点 |
| ④ (国道 366 号線)・・・ | 梶田町六丁目 |
| ⑤ (国道 366 号線)・・・ | 梶田町一丁目交差点 |
| ⑥ ((都) 瀬戸大府東海線)・・・ | 横根町後田交差点 |

(3) 高速道路の利便性向上

知多半島道路や伊勢湾岸道路の有効利用と地域経済の活性化、地域生活の充実などを図るため、以下二点について取り組みをお願いします。

については、大府市として当事業に対する方針を明確にして必要な地元対応に、前向きに取り組むとともに、引き続き愛知県始め関係者に実現を積極的に働き掛けていただきたい。

① 知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置

第4次大府市都市計画マスタープランでは、大府PA周辺に産業系市街地候補ゾーンを設定しており、将来のまちづくりを考える上で、PAへのスマートIC設置は必須と考えます。

現在、大府PA（下り線）の整備工事が進行中ですが、（都）荒尾大府線との接続を想定しつつ、同PAにスマートICを設置することについて、PA施設管理者や愛知県道路公社始め関係者との調整を具体的に進めること。

② 知多半島道路大府西インターチェンジの渋滞解消

大府西ICを降り、国道302号線と接続する上入道交差点付近の渋滞が顕著であり慢性化しています。

知多半島道路と伊勢湾岸道路との直接乗り入れについて、早期に具体化すべく引き続き関係機関と検討を進め、計画を実現すること。

2 地域産業の発展と雇用確保

(1) 産業用地の創出

地域経済の持続的発展のためには、雇用を確保し税源を涵養する産業力の強化が不可欠です。しかし、大府市内にはまとまった産業用地が少なく、新たな企業進出が難しい状況にあります。

自動車産業を始め、健康医療関連産業やロボット産業等の、地域を牽引する産業の誘致に向けて、周辺環境との調和に配慮した魅力ある産業用地を整備されたい。

ことに、「木の山地区」「伊勢湾岸自動車道北崎IC周辺地区」「あいち健康の森隣接地区」については、愛知県企業庁等と連携して早急に着手するとともに、産業用地開発の前提となるアクセス道路などのインフラ整備についても、同時並行で推進していただきたい。

（２）戦略的な企業誘致の推進

製造業の現場に加え、医療・介護や生活支援など、幅広い分野で活用が進むロボット産業については、新たな産業の一つとして期待されています。研究・開発機能が当地に進出して発展し、人材が集まるよう、国立長寿医療研究センター内の「あいちサービスロボット実用化支援センター」等と連携して、企業支援や誘致の充実を図られたい。また、地域産業の技術革新を推進するため、独自の技術やビジネスモデルを有するスタートアップ企業の誘致・育成にも取り組まれたい。

（３）大府市産業振興計画の進捗管理

当会議所は地域唯一の総合経済団体として、地域経済の持続的発展のため行政との連携・協力を惜しみません。令和２年度には、本市産業の総合的な振興を図る「大府市産業振興基本計画」の策定に当所としても関与したところです。

新たに設置された大府市産業振興懇談会などによる情報共有と調整を積極的に図ることにより、市産業振興計画の推進を図っていただきたい。

3 中小・小規模企業の支援強化と人材育成

（１）生産性向上支援

中小企業の多くは、生産年齢人口の減少に伴う人手不足という経営課題に直面し、経営の合理化や生産性の向上を課題としています。その対策の一つとして期待されているのが IT や IoT 等の活用です。DX 化推進のための財政支援や IT ツールの紹介や IT ベンダー・IT 専門家の活用などについて支援をお願いしたい。

（２）販路開拓支援

企業がビジネスを拡大していくためには、継続的に各種展示会や商談会に参加しながら情報収集を行い、人的ネットワークを構築していくことが必要であることから、出展費用の支援拡充をお願いしたい。

また、新たな販路を開拓するためのインターネットショップの開設やインターネットショッピングモールへの出店などに係る費用や企業価値を高める指標となる JIS 規格や JAS 規格取得に関する費用についても新たに支援をお願いしたい。

(3) 人材の育成・確保支援

当地域がものづくり産業の中心として今後も発展するためには、生産に携わる優秀な人材の育成・確保が不可欠です。今求められているデジタル化を始め、中小企業の経営革新を担う従業員等の研修や技能検定費用に対する支援をお願いしたい。

また、求人に当たっての情報誌等の掲載料や合同企業説明会等への出展料についても支援措置をお願いしたい。

(4) 「少年少女発明クラブ」への支援

小・中学生に発明や工夫の楽しさ、創作する喜びを体得させる「少年少女発明クラブ」の活動は、ものづくりの盛んな当地にとって重要と認識しており、地元経済界としても毎年、協賛金等による支援に努めているところです。

大府市における様々な支援については、令和2年度の要請に対する回答により承知しておりますが、財政的な支援拡充についても引き続き検討をお願いします。

Ⅱ 持続可能なまちづくりの推進



1 あるべき都市像の具体化と市民レベルでの共有

第6次大府市総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランでは、持続可能なまちづくりを進めるため、J R大府駅や共和駅周辺などを中心に、居住機能や商業・医療・福祉などの都市機能を集積するとともに、市内各地をネットワーク化して、多核集約型の都市構造を目指すとしています。これは、平成28年9月に当商工会議所が提言した「大府市まちづくり構想」と軌を一にするものであり、心強く感じているところです。

一方で大府市の現状は、道路整備の遅れや鉄道による市街地の分断により、慢性的な交通渋滞が発生するなど、市街地の発展に支障を来しています。また、都市基盤も脆弱であり、まちの活力低下も危惧されているところです。

こうした中、市当局におかれては総合計画や都市計画マスタープランに掲げる土地利用の方針を具体的なまちづくり事業につなげるため、立地適正化計画の策定に着手されております。計画策定始め大府市のまちづくりの推進に当たっては、下記事項に配慮していただきますようお願いいたします。

(1) 将来構想の見える化

大府市内では、マンションの建設や土地区画整理事業による宅地開発、産業拠点用地の整備などが各地で進行しております。民間開発の誘導による地域経済の活性化に異論はありませんが、将来の都市像が見通せないのが実情です。

構想の見える化による街づくりを推進していただき、将来に禍根を残さない、将来世代に過度な負担を掛けない、将来の選択肢を狭めない都市政策の推進を強く希望します。

(2) 公民連携によるまちづくりの推進

公民の連携無くしては理想的なまちづくりの進展は望めません。民間の力を活かすまちづくりを進めるための仕組み作りに、市当局のリソース（人材、情報、財源などの資源）を重点的に投下していただきたい。

例えば、中心市街地活性化法の活用（認定中心市街地活性化計画の

策定、中心市街地活性化協議会の設立、まちづくり会社の設立）による、持続可能な民間投資の誘発など

（３）市民参加のまちづくりの推進

大府市のあるべき都市像を市民レベルで共有するため、シンポジウムによる情報発信や住民参加のワークショップなどによる計画づくりを進めて、市民レベルでの情報共有を図っていただきたい。

（４）大府らしいまちづくりの推進

名古屋の近郊、知多半島や三河地方の入り口という立地の優位性を更に高めるとともに、古い集落や自然地形、水と緑など大府らしい資産の価値にも着目して、これを維持・増大させるまちづくりを進めていただきたい。

（５）道路等インフラの整備を前提とした拠点開発

産業拠点や集客施設、住宅群などの開発については、アクセス道路、下水の整備、電線の地中化など、インフラの整備を前提に進めていただきたい。

市内の事例を見るに、将来的な交通渋滞や隣接地利用の制限、防災上の課題などを惹起しかねない事例が散見されます。将来に禍根を残さない広域的な配慮の下、開発を推進していただきたい。

2 大府駅前再開発の具体化

令和２年度に策定された「大府駅周辺まちづくり計画」によるまちづくりの状況や今後の予定についてご教示願います。

まちづくりは短期で出来るものと、中長期で目指すものの両輪で成り立つことは承知しております。商工会議所は、ソフト事業の実施による公共空間の活用や賑わいづくりに貢献できるものと自負しております。

「大府駅周辺まちづくり検討会議」の構成メンバーを再度広く募った上で、継続的な検討と情報共有を図っていただきたい。

そして、将来的には都市再生整備計画事業や中心市街地活性化法の活用（認定中心市街地活性化計画の策定、中心市街地活性化協議会の設立、まちづくり会社の設立）などによる、持続可能なまちづくりにつなげていただきたい。

3 計画的な市街地整備の推進

(1) 明成町における市街地整備

市道大府半田線沿線の市街化調整区域では、商業・サービス施設が帯状に進出し、その後背地は低未利用地のまま広がっています。調和のとれた沿道市街地が形成されるよう、市街化区域へ編入して土地区画整理事業や地区計画制度などを活用した、計画的な土地利用を図るべきと考えます。

これについて、令和2年度の要請に対する回答では、「第6次総合計画や第4次大府市都市計画マスタープランに基づき進めて行く」との事でしたが、具体的にどのような方針なのか、ご教示いただきたい。

(2) 横根平子地区土地区画整理事業

横根平子地区では、令和7年の完了を目指して土地区画整理事業を施行中です。この区画整理区域と国道366号線とのスムーズなアクセスを確保するため、新規市道の開設も含めて、周辺道路の整備を促進していただきたい。

令和2年度の要請に対する回答では、「必要に応じて接続先の道路幅員を広げる等、道路整備を進める」との事でしたが、現状を見るに、少なくとも道路幅員の改良は必須と考えます。当該区画整理事業の竣工予定は令和7年であり、道路整備事業の予算化や設計、施工等を勘案すると残された時間は限られております。改めて、市当局の見解を伺います。

4 災害に対する強靱化

(1) 防災インフラの整備

近年は、世界的な異常気象の影響もあって、従来では考えられなかった重大なレベルの自然災害が頻発しています。被害の拡大や二次災害の防止を図るため、防災インフラの整備に努めていただきたい。

- ① 橋梁、河川堤防、上下水道などインフラの改修・耐震対策予算の確保
- ② 道路の防災性能向上に向けた無電柱化の推進

無電柱化の検討状況についてご教示いただきたい。

- ③ 市街地の防災機能を高める民間住宅の耐震化や狭隘道路の解消

無料耐震診断や耐震診断費・改修費補助の実績、並びに道路用地の買取や寄付の状況についてご教示いただきたい。

- ④ ため池の浚渫などによる雨水貯留機能の強化

（２）被災時対応の充実

市当局におかれては、地域防災計画等の適時・適切な見直しにより、防災・減災体制の整備に努めていただいているところですが、引き続きその充実に努めていただきますようお願いいたします。

- ① 近隣自治体と連携した医療・避難体制の整備・拡充
- ② 新型コロナウイルス対策を含めた避難所運営マニュアル・物資の整備
- ③ 災害廃棄物の適正かつ迅速な処理体制の確立
- ④ 行政と民間企業が連携協力できる安否情報の共有や物資備蓄の推進
- ⑤ 円滑な罹災証明書の発行など中小企業支援策の整備

（３）基幹的広域防災拠点（サブ拠点）の誘致

道路を始めとする防災インフラの整備を加速するため、あいち健康の森公園及び周辺地域に基幹的広域防災拠点のサブ拠点を誘致する考えはないでしょうか。

愛知県では、基幹的広域防災拠点の整備を、名古屋空港に隣接する豊山町青山地区に計画しているところですが、当地の優れた広域交通条件や医療施設の集積は、基幹的広域防災拠点を補完するサブ拠点として、一定のアドバンテージを有すると考えます。市当局の見解をお伺いします。

5 警察力の強化

当地域は、名古屋市と刈谷市に挟まれた住宅都市でもあり、人口増加に対応した治安の維持が大きな課題の一つです。警察当局の努力により当市の治安情勢が近年向上していることは承知しておりますが、自動車盗、自動販売機狙いの発生件数が69市町村の中でも高く、令和2年5月には長草地区で殺人未遂事件が発生しており、市民の体感治安はまだ十分とは言えません。

大府市における永年の懸案である警察署の設置について、愛知県が前向きに検討できるよう、大府市による財政負担の提案も含めて、引き続き積極的な誘致活動をお願いします。

6 地域の賑わい創出と快適なまちづくり

(1) 大府市観光協会の体制強化とKURUTOおおぶの運営

観光協会を法人化して独立させるとともに、企画力・調整能力・事業運営能力などに優れた経営感覚溢れる人材を確保して、観光協会事業の充実・強化を図られたい。

併せて、観光案内や物産販売も行っているKURUTOおおぶの運営についても、観光振興の視点で引き続き検討をお願いしたい。

(2) 空き店舗等活用補助金制度の拡充

平成30年4月に施行された本補助制度は、その対象区域を都市計画法第8条第1項第1号に規定する商業地域に指定された区域と定めています。しかし、同区域内には利用可能な空き店舗の数が少なく、制度活用の障害となっています。指定区域を拡大して、より使いやすい制度とされたい。

(3) 公共交通サービスの充実

高齢化の進展やライフスタイルの変化、技術革新などにより、長期的には市民の移動手段が、マイカーから公共交通機関にシフトすることが予想されます。将来的なまちづくりと連動した公共交通体系の整備を推進していただきたい。

- ①大府市循環バスの路線及び運行ダイヤについては、各路線の乗車率・定時性などの運行状況を踏まえたうえで、必要な改善措置を講ずること。
- ②近隣市町の公共交通機関との連携を強化すること。
- ③市循環バスや民間路線バスの維持と大府市の財政負担を適正に保ち、持続可能な公共交通とするため、市民ニーズの把握と利用促進につながる情報提供・PRに努めること。
- ④タクシーについては、時間帯や曜日によって利用しにくい状況にあります。市民の移動需要に柔軟に対応できるよう事業者との協議・調整を図ること。
- ⑤自動運転などの技術革新を見込んだ、長期的な視点に立ったまちづくりに配慮すること。

7 市民の生活と安全を支える市道の整備

幹線道路を補完するとともに、市民の生活に密接にかかわる市道の整備は、産業活動の生産性向上や市民の交通安全確保の大前提です。また、狭隘な道路は、大規模地震発生時等の救急・消防活動に支障を来す恐れが極めて高く、早急な対策が必要です。

以下二点について取り組みをお願いするとともに、その実績や市当局の見解についてご教示いただきたい。

- ①既設道路の拡幅を始めとする改良事業、歩道の設置、無電柱化、側溝の有蓋化などの整備推進
- ②市内で進む宅地群や産業拠点の開発に対応した新たな市道ネットワークの計画・整備

8 街路樹の整備

大府市では、令和2年9月に策定された「緑の基本計画」に基づき、道路緑化の推進に努められているところですが、県管理の道路と市管理の道路で街路樹の管理や草刈りなどに差が生じております。

安全性や美観に問題がある箇所が散見されますので、県との連携を図って良好な道路環境の維持・整備に努めていただきたい。

Ⅲ 健康で働きやすい持続可能な地域の実現



1 健康経営の推進

超高齢社会を迎えた我が国では、労働人口の減少による生産性の低下や医療・介護費の増大等による企業負担増が大きな課題となっています。特に、小規模・零細事業者においては、その影響は大きく労働生産性の向上につながる健康経営の普及・推進が求められています。

大府市が将来像に掲げる「サステナブル健康都市おおぶ」の実現に向けても、健康経営の普及は大きな課題の一つであり、当商工会議所が果たすべき役割も大きいと認識しています。

については、令和2年度から進めている、大府市と大府商工会議所、協会けんぽ愛知支部が連携・協力して進めている健康経営の普及・推進の充実をお願いします。

具体的には以下の通り。

- ① 公共事業の入札時の加点等、健康経営に取り組む事業所の動機づけや目的意識の向上につながる施策の検討
- ② これから働き手となる学生への普及・啓発

2 SDGs（持続可能な開発目標）の普及・啓発と環境ビジネスの振興

（１）脱炭素化に対応した環境整備

2020年10月、日本政府が発表した「2050年カーボンニュートラル宣言」では、2050年までに脱炭素社会を実現し、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標としています。産業界においても、宣言を契機に生産現場や産業構造を抜本的に見直して、温室効果ガスの排出削減と経済成長の両立を目指すことが求められています。

しかし、コロナ禍により極めて厳しい経済環境にある中小・小規模事業者にとって、脱炭素化に向けた設備投資やエネルギーを始めとする新たな関連産業分野への挑戦は、極めて負担が大きいのが実情です。

大府市では本年1月に「ゼロカーボンシティ」を目指す旨表明されたところです。脱炭素社会の実現に向けた企業の省エネ・再エネ化投資（高効率照明、太陽光発電等）に対する財政支援や、新たな関連産業分野へ

の挑戦に対する支援をお願いします。

(2) 環境ビジネスの振興

本年4月、菅総理はパリ協定ベースの我が国の温室効果ガス削減目標を引き上げると発表しました（2030年度▲26%⇒▲46%（2013年度比））。この目標を達成するためには、「業務用その他部門」及び「家庭部門」の大幅な削減が必須であり、既存建物を含めた建築物の省エネ化や効率照明の導入等を進める必要があります。

大府市におかれては、当商工会議所の要請を受けて、街路灯のLED化や地球温暖化対策設備導入に対する補助制度を設けていただいておりますが、これら省エネ設備の普及と建築・設備等の関連産業の振興に向けて、更なる制度の拡充など支援の充実をお願いします。

3 ウェルネスバレー構想の推進

(1) 医療機器産業の戦略的な誘致

医療機器産業は、当地のものづくり技術やノウハウを活用でき、今後の成長が期待されます。国立長寿医療研究センターやあいち小児保健医療総合センターとも連携して、あいち健康の森周辺への戦略的な企業誘致を強力に推進してください。

ついでには、ウェルネスバレー地区土地利用意向調査の結果等を踏まえた当地区の今後について、ロードマップを示していただきたい。企業が進出意欲を持つためには、事業用地は勿論、道路インフラを始めとする事業環境の整備が不可欠です。養父森岡線の整備を含めた、戦略的なビジョンの提示を期待します。

(2) 地域資源の活用

ウェルネスバレー地区には、「あいち健康の森公園」そして「げんきの郷」という多くの人を集める拠点施設が既に立地しています。当所では、平成28年の「まちづくり構想提言書」で、これらと連携して農業体験や加工・販売、宿泊・レジャーといった機能を付加する構想を、イメージ図も含めて提案しております。

これらのアイデアをブラッシュアップして見える化し、ウェルネスバレー構想推進のたたき台とすることについて、どの様にお考えかご意見を伺いたい。

（３）中小企業の医療機器産業への新規参入支援

製販ドリブン事業の活性化に加えて、初期段階での試作・研究開発や実証実験への助成、産学官連携の推進など、事業化を見据えた入口から出口までの支援の充実をお願いしたい。

（４）スタートアップ支援機関のサテライト誘致

愛知県が進める、スタートアップの中核支援拠点「ステーションA i」のサテライト施設を、あいち健康の森地区に誘致されたい。誘致に当たっては、国立長寿医療研究センター内の「あいちサービスロボット実用化支援センター」との連携を検討いただきたい。

健康長寿の一大拠点を目指す同地区内で、医療・介護等に係る起業家や企業、投資家らが交流する拠点とすることで、ウェルネスバレー構想の具体化が推進出来るものと考えます。

（５）あいち健康プラザ減築への対応

あいち健康プラザの減築計画は、新型コロナウイルス感染症対策のため延期されましたが、コロナ禍の終息に伴い、遠からず実施されるものと思います。減築されればプラザの機能はもとより、あいち健康の森公園の集客にも影響が出ると予想されます。

地域の賑わいや憩いの場を提供する貴重な公園施設です。地元自治体として、その動向に十分留意するとともに、公園の管理運営について愛知県に対して適時適切に意見・要望いただきたい。

（６）新たなウォーキングコースの設定

大府駅西口から健康の森公園へかけてウェルネスバレーロードが整備され、コース各所に案内サインが設置されていますが、ウォーキングを楽しむには今一つ魅力に欠けます。

昨年９月に、市が策定された「緑の基本計画」は、緑地の保全と緑化の推進に関する総合的な指針となるものですが、その具体的な施策の一つに、緑道の整備やウォーキングコース沿いの緑化推進が掲げられています。

当地区は数多くの水と緑の拠点に加え、神社・仏閣を始めとする史跡も多く存在します。これらを活かしたウォーキングコースの設定により、ウェルネスバレー地区の更なる魅力アップにつなげていただきたい。

IV 臨時・特別要請 新型コロナウイルス感染症対策



1 新型コロナウイルス感染症の長期化に対応した支援の継続と拡充

大府市では昨年度から、事業者に対する各種の補助金や助成金、商品券発行事業、飲食店等の応援キャンペーンなどにより幅広い支援をいただいているところです。

大府商工会議所においても緊急経営相談窓口を設置して、困窮する事業者に一刻も早く必要な支援が届くよう情報提供に努める外、経営計画の策定支援や融資、各種助成金、持続化給付金・補助金などの申請手続きの支援に努めております。

また、事業者においては、アフターコロナに向けてビジネスモデルの転換や生産性向上への挑戦が求められています。当所では、こうした中小企業の下支えや挑戦に対するサポートにも全力で努めているところです。

現在に至るも、新型コロナウイルス感染症の終息は見通せず、経済的ダメージが深刻化しております。市当局の支援継続と拡充を切にお願いします。

2 公共事業等による景気の下支え

市内事業者を対象にした公共工事、物販、役務等の積極的な発注により、需要を喚起していただきたい。

また、工期・納期において柔軟かつ十分な対応を行うとともに、迅速な支払いや予定価格について配慮をお願いしたい。

3 政府・愛知県への要請

次の二点について、政府、愛知県へ大府市からも強力に申し入れをしていただきたい。

① 各種支援策の手続きの迅速化

政府の経済対策・緊急対策で示された、中小企業・小規模事業者に対する支援策について、必要な支援が事業者迅速かつ的確に行き渡るようにすること。

特に、小規模事業者持続化補助金については、採択はされたものの審査に時間を要し、交付決定・事業着手が遅れがちです。迅速な審査とと

もに柔軟な事業着手への配慮が急務です。

② PCR検査の充実による無症状感染者の早期発見

気軽にPCR検査ができ、無症状感染者を早期発見できる環境を整備すること。

③ 医療体制の強化

県民の誰もが安心して必要な医療を受けられるように、医療体制を強化すること。

おわりに ～ 定期的な経済界との意見交換と財政支援について ～

大府市はいまだに人口増を続けている数少ない自治体です。その力の源泉は、自動車産業を始めとする製造業や中小・小規模事業者の振興により、厚みを増して来た産業力の集積にあります。私たちは、この先人の努力を継承して今後も生産性を高め、高い付加価値を生み出していかなければなりません。それがまた人材・情報・資本をこの地域に呼び込み、成長・発展して行く「持続可能な地域づくり」につながります。

大府商工会議所は地域唯一の総合的経済団体として、大府市が掲げる「いつまでも住み続けたい・サステナブル健康都市おおぶ」の実現に向けて、大府市と連携協力して地域づくりに取り組んでまいります。

社会資本整備や産業振興など市政各般にわたり様々な要請をさせていただきましたが、最後に経済界と市当局との定期的な意見交換の場の設置と当所への財政支援について要請いたします。

■ 定期的な意見交換の場の設置（構成：市、商工会議所、JA等）

第6次大府市総合計画、第4次大府市都市計画マスタープランの具体的展開に向けた、まちづくりに関する意見交換の場とします。

当所の要請に対しては、毎年丁寧な回答をいただいているところですが、残念ながらそれをフォローアップする場がありません。関係者が集って課題を共有するとともに連携協力して、それを不断に見直しアクションにつなげる場として検討いただきたい。

■ 小規模事業補助金等の水準維持

大府商工会議所は、当市の商工業者数2,900者の過半を会員とする、市内唯一の総合的な経済団体であり、地域内商工業の発展を図り、兼ねて社会一般の福祉増進に資することを目的に、中小企業の活力強化、地域振興、行政への提言・要請等様々な活動を行っております。

その財源は、会員会費や事業収入の他、多くを愛知県及び大府市の補助金に負っております。市当局におかれては、従来の産業振興施策の方向性を踏まえ、小規模事業補助金等の水準を維持いただくよう、特段の配慮をお願いします。

参 考 資 料

1 幹線道路の整備促進

2 幹線道路の交差点改良等

3 高速道路の利便性向上

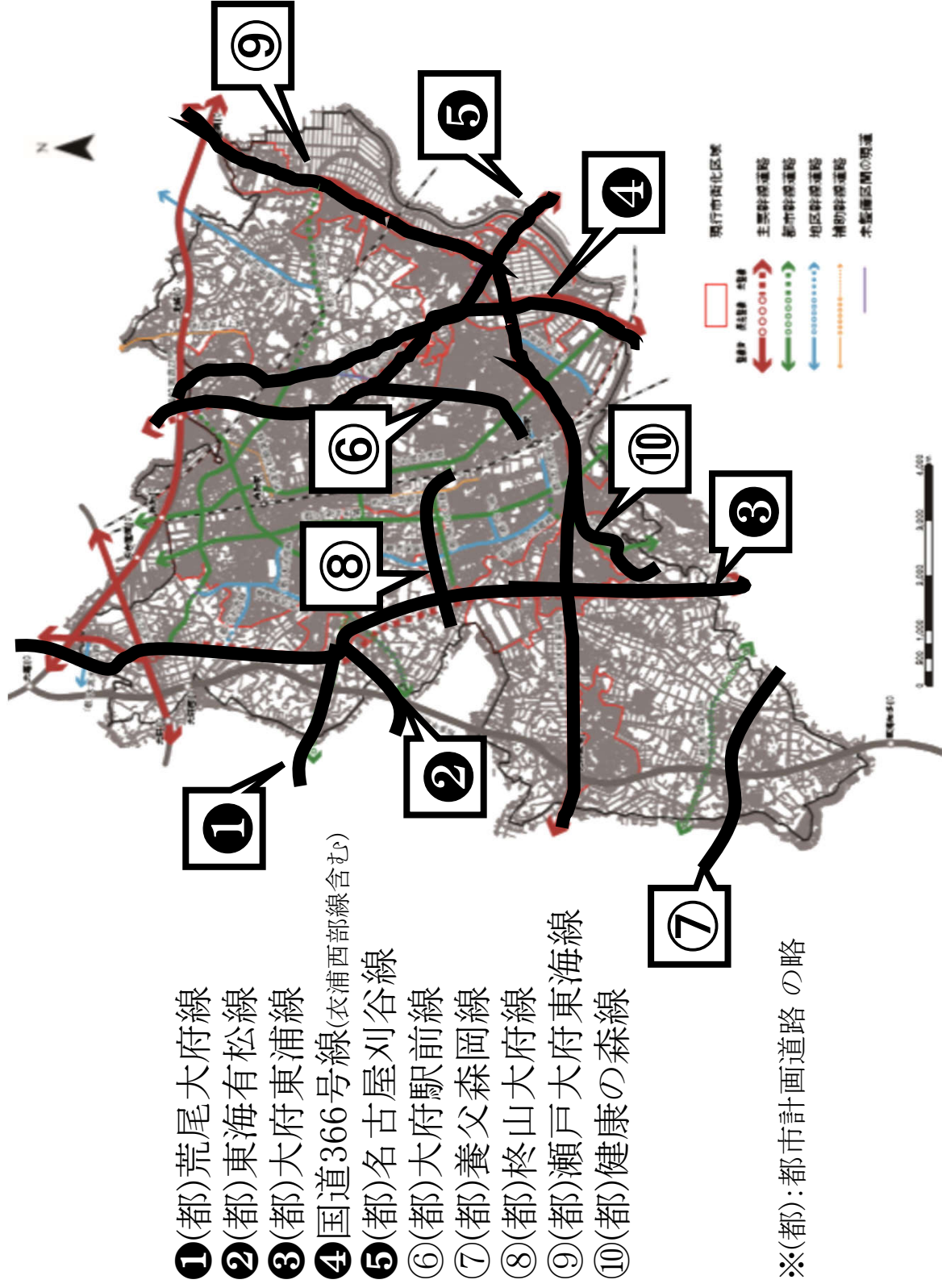
～知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置～

4 高速道路の利便性向上

～知多半島道路大府西インターチェンジの渋滞緩和と利便性の向上～

5 地域産業の振興と雇用確保

1 幹線道路の整備促進



注) 地図の出典は第4次大府市都市計画マスタープラン

2 幹線道路の交差点改良等

*一般県道名和大府線

*一般県道東海緑線

①田面交差点、本郷交差点

②下田ノ松交差点

* (都)名古屋刈谷線

③午池南交差点

*国道366号線

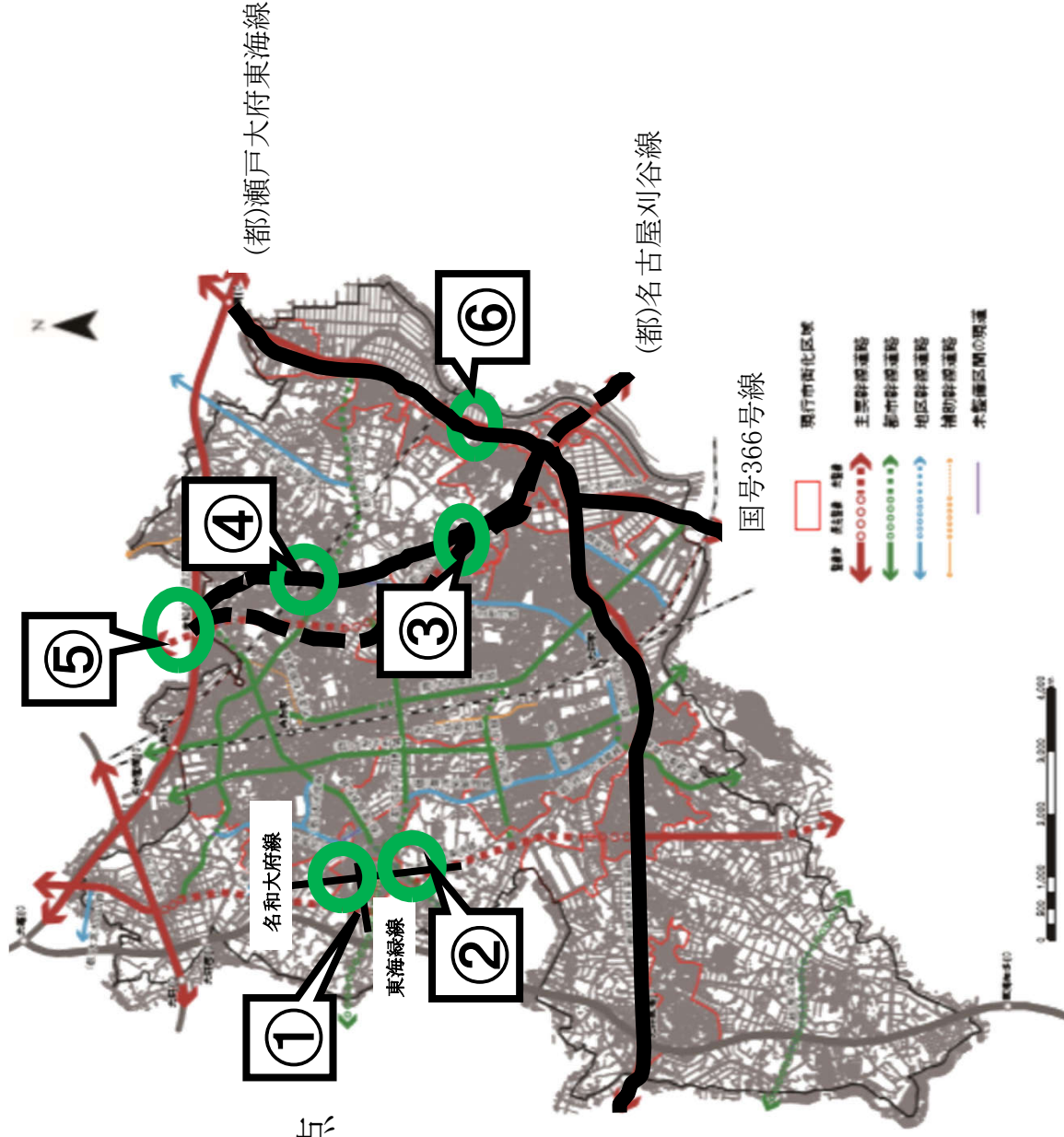
④梶田町六丁目

⑤梶田町一丁目交差点

* (都)瀬戸大府東海線

⑥横根町後田交差点

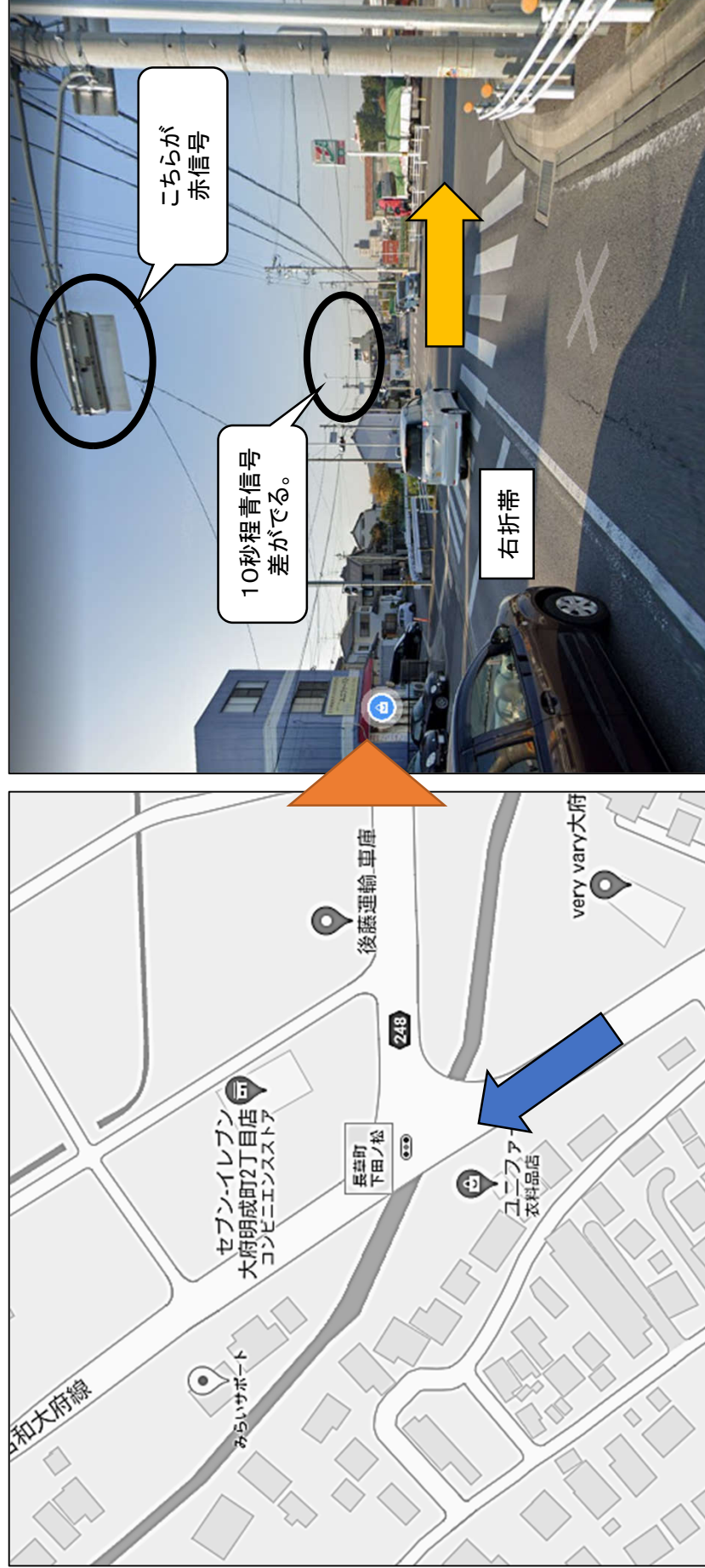
※(都):都市計画道路の略



注) 地図の出典は第4次大府市都市計画マスタープラン

2 幹線道路の交差点改良等

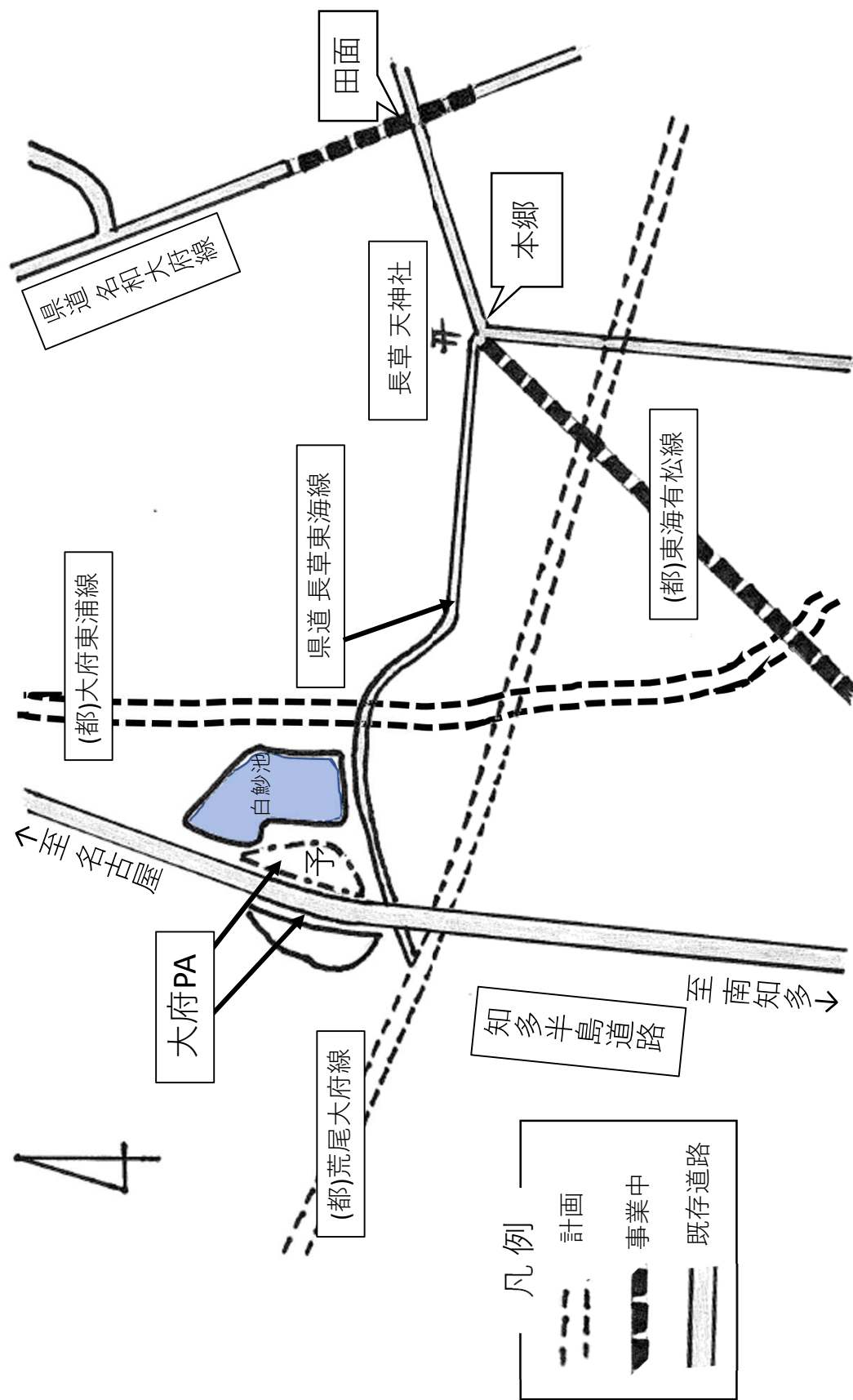
② 長草町下田ノ松交差点への右折信号機の設置



出典：google地図より

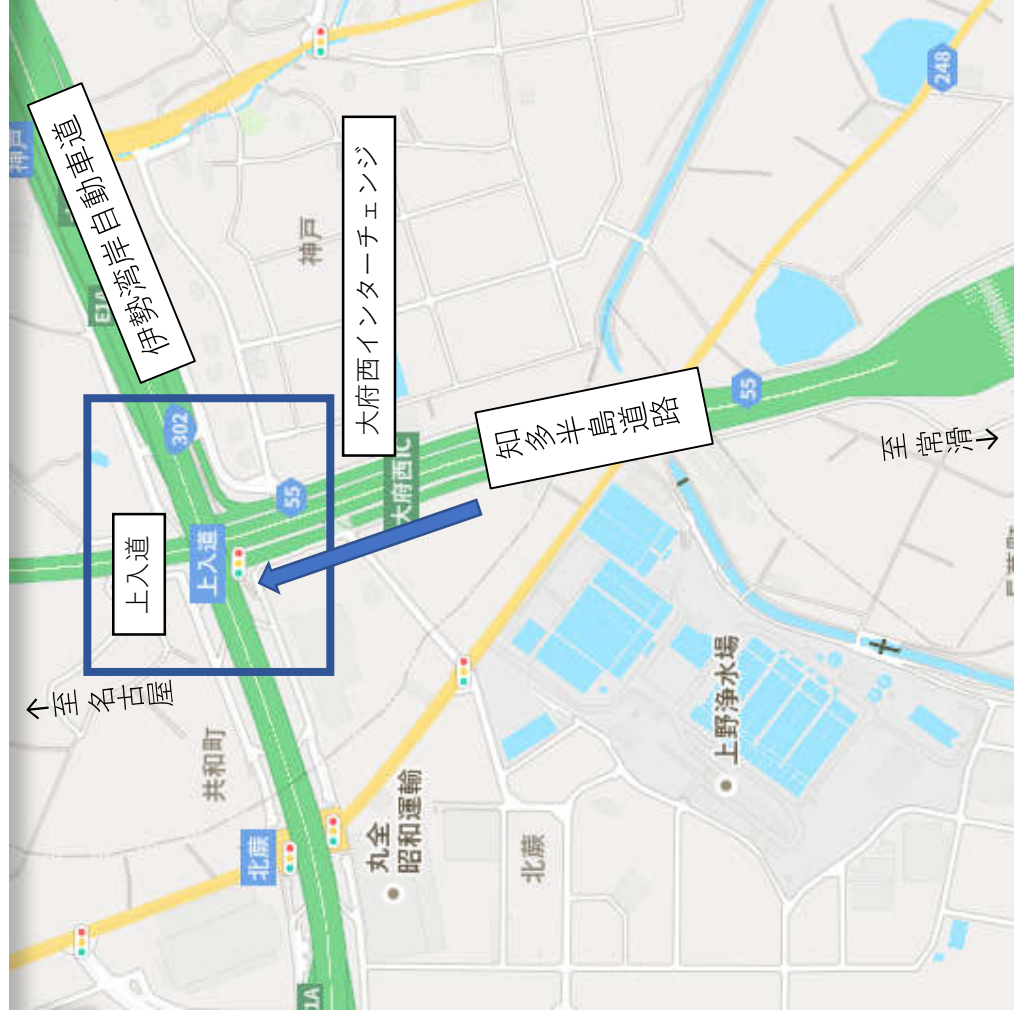
3 高速道路の利便性向上

～ 知多半島道路大府パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置～

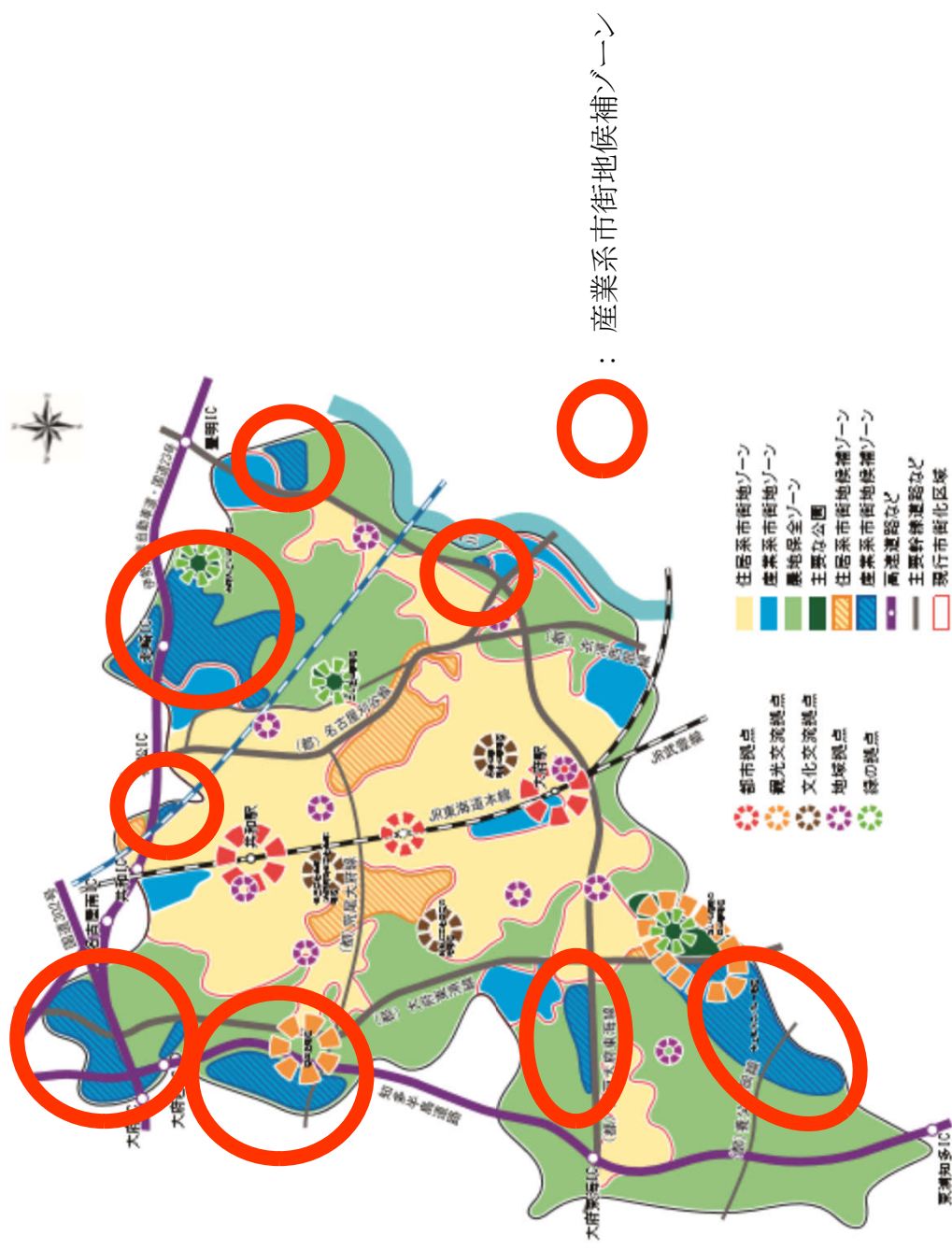


4 高速道路の利便性向上

～知多半島大府西インターチェンジの渋滞緩和と利便性の向上～



5 地域産業の振興と雇用確保



注) 地図の出典は第4次大阪府都市計画マスタープラン